

2 輪走行時における二次災害防止の遵守事項

危険な場所

自分が転倒した場所は他者も転倒しやすい場所です。特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ場所に次々と転倒してきます。またコース上の障害物を避けようとしたり、止まっているライダーやマシンに注意をそらされてバランスを崩すこともあります。

ご自分が一番危険な位置であることに留意して以下の行動をして下さい。

二次災害防止を基本に

転倒したら二次災害の防止。つまり後続車に轢かれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故が増大する事を防止するよう心がけて下さい。

まず逃げる

転倒したら、できるだけ安全な場所に早く逃げて下さい。

後続車への合図

- ・ポストから黄旗が振られますが、できる限り後続車に知らせる努力をして下さい。
- ・タイミングをみて、電源と燃料コックを OFF にして火災やガソリン漏れの防止をして下さい。

障害物の片付け

- ・オフィシャルと協力して散乱部品の片付けを素早く行って下さい。
- ・オイルやガソリンがこぼれていたら処理作業も素早く行って下さい。
- ・安全上、走ってくるライダーには背中を向けないように心がけて下さい。

再スタート

マシントラブルによりストップした場合も含めて再スタートが可能かどうかの確認をする場合は安全な場所に移動してから確認して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。
オイル漏れ等があった場合は無理にピットへの帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に支障のある部分の破損、重要部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり二次災害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を十分に確認し余裕を持ってコースに復帰して下さい。

コース内ではヘルメットを

コース内（グリーン含む）にライダーがいる場合は他のライダーに注意を促すために黄旗が振られます。走行を中断し救護を待つ間は他車が飛び込んでこない位置のガードレール外側が一段高い土手の上に避難して下さい。

救護を待つ間もヘルメットは被ったまま行動して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。走行中に転倒車両を目撃したら次の周に転倒車両が居なくなっても十分注意をして走行して下さい。